

自転車競技部 近畿高体連主催 近畿大会ロードの部 インターハイ予選 結果報告

大会日 令和元年6月9日(日)

会場：奈良県宇陀市特設ロードコース

1周 6.7km×12周=80.4km

参加者 3年生 井上・伊藤・大新

8名 2年生 本田・元井・船橋・松下・吉田

大阪春季大会の結果、本校からは8名の選手が近畿大会に出場しました。

近畿大会ロードの部はインターハイ予選を兼ねており、近畿からの出場者枠20名の座をかけて121名の選手が、10時に宇陀市農村環境改善センター「農林会館」前をスタートしました。今年のレースは1周回目から6.7kmを9分48秒で回ってくるという、平均時速41kmのハイスピードレースとなりました。そのハイペースの中から2名の選手が集団から飛び出して先行し集団のペースは落ちることなくレースが進行しました。本校の作戦は中盤以降に勝負をかけるというものでしたので、序盤は集団の中で様子を見ながらレースをすすめることになりました。

しかし、3周目から吉田がハイペースについて行けずに集団から遅れ、松下は落車した選手をよけきれずに、落車しないまでも集団から大きく遅れてしまった。また、元井はスタート前のアクシデントでマビック社に用意してもらった予備の自転車に乗り換えての出走となり、慣れない自転車では力を出し切ることができずに残念ながら集団から遅れて、3名は途中関門打ち切りとなってしまいました。

残りの5名は、ハイペースの集団内でも良い位置をキープし周回を重ねて行く。レース中盤には最大45秒差あった先行する2名を集団がとらえ、集団は1つとなってレースは終盤へ。この時点での集団の人数は約40名。残り4周回で1/3の選手しか残っていないというサバイバルレース。残り2周回に入って10名の選手が先行したが、本校の選手はこの10名に入れず集団内で10位以下でのインターハイ出場権をかけたゴールスプリントをすることになった。

最終ゴールスプリントの結果

大新11位、井上15位、伊藤16位、船橋28位、本田47位

3年生の3名がインターハイ出場を決めました。(完走49名)

祝 インターハイ出場 大新・井上・伊藤

学校対抗ロードの部 団体4位

学校対抗ロード団体の部は上位2名の選手の順位を得点化して優劣を競うものです。

